

第36回 全日本U-12フットサル選手権大会 札幌地区予選

開催要項

- 主 旨** 日頃の練習成果を競い、より高度なフットサル技術のレベル向上を目指す。また、競技を通じてフットサルの楽しさを味わい、小学生年代の健全な心身の発育・発達を図ると共に第36回全日本U-12フットサル選手権大会北海道代表決定戦札幌ブロック大会に札幌地区代表として出場するチームを決定する。
- 名 称** 第36回全日本U-12フットサル選手権大会 札幌地区予選
- 主 催** 一般社団法人札幌地区サッカー協会、特定非営利活動法人札幌フットサル連盟
- 主 管** 特定非営利活動法人札幌フットサル連盟、札幌地区少年サッカー連盟
- 後 援** 札幌市教育委員会、一般財団法人札幌市スポーツ協会
- 期 日**

2026年1月10日(土) 白石区体育館

1月12日(祝月) 石狩B&G海洋センター

1月17日(土) 北海きたえーるサブ・清田区体育館・石狩B&G海洋センター

1月24日(土) 白石区体育館・西区体育館

1月31日(土) 白石区体育館 開催なし
- 参加資格** (1) フットサルチームの場合
 - ① (公財)日本サッカー協会(以下、「JFA」という。)に「フットサル4種」の種別で加盟登録したチームであること。一つの加盟チームから複数のチームで参加できる。
 - ② 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手でJFA第4種登録選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。

* 上記「加盟チーム」とは、12歳未満の選手により構成されるチームである。ただし、2026年度に小学校在学中の選手には、この年齢制限を適用しない。

③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。

(2) サッカーチームの場合

① JFA に「4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟チームから複数のチームで参加できる。

② 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手でJFA第4種登録選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。

* 上記「加盟チーム」とは、12歳未満の選手により構成されるチームである。ただし、2026年度に小学校在学中の選手には、この年齢制限を適用しない。

③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。

(3) 複数登録チームにおける「合同チーム」の本大会参加については、上記(1)又は(2)における参加資格を満たしている場合において認める。ただし、合同チームの複数チーム参加については不可とする。

(4) 本地区予選・本大会を通して、選手は他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、又はサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。

(5) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。

(6) 本大会フットサル登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。

① フットサルチームの場合 登録料：2,000円

② サッカーチームの場合 登録料：4,000円

(7) 当該年度の(一社)北海道フットサル連盟(以下、「HFF」という。)に加盟したチーム。(HFFのフットサル登録料の振込完了を以って加盟したチームとす

る。)

8. 参加チーム 参加チームは、12月24日(水)までに札幌地区予選の大会参加料を振り込んだチームとする。参加申込書およびメンバー表、選手証は単独チームの場合は当日会場に持参すること。

9. 大会形式 (1) 予選リーグは、1ブロック4チームを基本としてリーグ戦を行い、各ブロックの1位・2位のチームがブロック大会に進出する。

(2) リーグ戦順位決定

勝点(勝利3点、引き分け1点、敗戦0点)の合計が多いチームを上位とし、順位を

決定する。ただし、勝点合計が同一の場合は、次の各号の順序により決定する。

① 当該チーム間の対戦成績

② 当該チーム間の得失点差

③ 当該チーム間の総得点数

④ 当該ブロック内の総得失点差

⑤ 当該ブロック内の総得点数

⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム

(ア) 警告1回 1ポイント

(イ) 警告2回による退場1回 3ポイント

(ウ) 退場1回 3ポイント

(エ) 警告1回に続く退場1回 4ポイント

⑦ 抽選

10. 競技規則 大会実施年度のJFAフットサル競技規則を適用する。

11. 競技会規定 以下の項目については、本大会で規定する。

(1) ピッチ

・大きさ：サイズは原則として、32m×16m(体育館の仕様による)

- ・ センターサークル：半径 2.5m
- ・ ペナルティーエリア四分円の半径：5m
- ・ ペナルティーマーク：5m
- ・ 8m マーク：8m
- ・ 交代ゾーンの長さ：4m
- ・ タイムキーパーの机の前のエリア：ハーフウェーラインの両端からそれぞれ 4m

(2) 守備側競技者のボール等から離れる距離

- ・ フリーキック：4m
- ・ コーナーキック：4m
- ・ キックイン：4m

(3) 使用球は、フットサル 3 号球ボールとする。

(4) 競技者の数

- ・ 競技者の数：5 名
- ・ 交代要員の数：9 名以内
- ・ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2 名以内

(5) ベンチに入ることの出来る人数は、13 名以内 (交代要員 9 名、役員 4 名以内) とする。

(6) 棄権試合の戦績は、0 - 5 とし、そのチームは不戦敗となる。

(7) ユニフォーム

- ① フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム (シャツ、ショーツ、ソックス) を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
- ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
- ③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代

わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。

試合の勝者を決定するPK戦においても上記同様の対応とする。

尚、ケガや退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合、主審の判断により、ゴールキーパーのユニフォームを前述以外のシャツ（ビブスなど）で代用することができる。

- ④ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- ⑤ 選手番号については1から99までの整数とし0は認めない。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- ⑥ ユニフォームにゼッケン（貼り番）が必要な場合は、ユニフォームと同色の布に番号と同色の番号を付け、必ず4辺を縫い合わせたものを使用すること。
- ⑦ ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。尚申請書のコピーを会場に持参すること。ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- ⑧ 正・副の2色については明確に異なる色とする。
- ⑨ 主審は、対戦するチームのユニフォームが類似しており判別しがたいと判断した時は、両チーム立会いのもとにその試合において着用するユニフォームを決定する。
- ⑩ 前項の場合、主審は両チームの各2組のユニフォームから、シャツ、ショーツおよびソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することとする。

とができる。

- ⑪ その他、ユニフォームに関する事項については、JFA ユニフォーム規程に則る。

(8) 靴

キャンパス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)ただし、ノンマーキングシューズは靴底が着色されたものでも施設が許可をしている場合は、着用可能とする。なお、チーム役員にも適用する。

(9) ビブス

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

(10) 試合時間

予選リーグ・決勝トーナメントとも、16分間(各8分からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは3分間とする(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始前まで)。

ベンチ交代は第1ピリオド終了後に行う。

出場チーム数により試合時間を変更する場合がある。

(11) 試合の勝者を決定する方法(試合時間内で勝者が決しない場合)

引き分けとする。

(12) タイムアウトは地区予選では適用しない。

12. 懲 罰

(1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係わる懲罰問題を処理するため大会規律委員会を設置する。

(2) 本地区予選において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

- (3) 本地区予選期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 前項により出場停止処分を受けたとき、本地区予選終了時点で警告の累積が1回のときの警告の累積は消滅する。
- (5) 本地区予選終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合(ただし札幌ブロック大会に出場するチームはこの大会)にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (6) 本大会の大会規律委員会は、出場停止処分2試合までの懲罰問題を処理する。
- (7) 大会規律委員会の委員長は、本大会の競技委員長とし、委員は2名以上で構成すること。
- (8) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会規律委員会が決定する。

13. 参加申込

- (1) 参加申込書は必要事項を記入し、当日会場にてエントリー表と照合すること。
- (2) 参加申込書に記載し得る人員は、選手20名、役員4名とする
- (3) 複数チームは必要事項を記入し、12月5日(金)までに代表理事を通しフットサル委員長、高橋までメールにて提出すること。

14. 参加料等

- (1) 以下の参加料を2025年12月24日(水)までに納入すること。

参加料 21,500 円(消費税率10%を含む)とする。

本大会フットサル登録料(サッカーチームは4,000円、フットサルチームは2,000円)、SFF登録料500円を、別途納入すること。

サッカーチームの場合、 21,500 円 + 4,000 円 + 500 円 = 26,000 円

フットサルチームの場合、 21,500 円 + 2,000 円 + 500 円 = 24,000 円

ただし、全道フットサル U-12 不参加チームは HFF3,000 円を別途納入すること。

(2) 振込先

北洋銀行 本店営業部 普通 3 1 6 2 3 3 5

特定非営利活動法人 札幌フットサル連盟 U-12 会長 石崎 民枝

※個人名での振込はチーム名を判別できません、チーム名を必ず明記すること。

15. 組合せ 組合せは、特定非営利活動法人札幌フットサル連盟第 4 種委員会において抽選し決定する。
16. 帯同審判 (1) 各チームは、4 級以上の公認フットサル審判員を 1 チームにつき 2 名以上帯同させること。 審判員の不帯同は認めない。
(2) 帯同審判員は、役員（監督を含む）と兼ねることができるが、担当する審判業務を優先すること。
17. 監督会議 日時：試合当日各会場で行う。
18. 負傷及び事故の責任 (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
(2) 参加選手はスポーツ安全協会傷害保険（第 1 種 A）もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。
19. その他 (1) 各試合競技開始時刻の 45 分前に、両チームの監督及び審判員とミーティングを行う。両チームのユニフォームの決定、メンバー提出用紙の回収、諸注意事項の説明等を行う。
(2) 各チームの登録選手は、原則として JFA 発行の選手証を監督会議および試合会場に持参しなければならない。ただし、写真添付により顔の認識ができるものであること。
※選手証とは KICKOFF から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。
(3) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
(4) る。

震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対

- (5) 処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。

競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取

- (6) 可能な飲料は「水のみ」に限定する。

本大会にあたっては、以下通知の通りとする。

『新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴う今後のHKFA主催事業について

- (7) (通知)』 <https://www.hfa-dream.or.jp/information/20230519-02/>

札幌地区代表28チームには、2026年3月21日(土)~2026年3月22日(日)

札幌市豊平区体育館で開催される全日本U-12フットサル選手権大会札幌ブロック

- (8) 大会の出場を義務づける。

組み合わせ決定後に参加者が参加を辞退した場合、既に支払われた参加料につい

- (9) ては返却しないこととする。

本開催要項に記載のない事項については、特定非営利活動法人 札幌フットサル

連盟4種委員会にて決定する。

以上